

留学報告書

記入日:2017年10月1日



所属学部／研究科・学科／専攻	文学部 文学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学 アーバイン校 現地言語:
留学期間	2017年6月～2017年9月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)

留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年9月19日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9月~12月 2 学期:1月~5月 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬~7月下旬, 2学期:9月中旬~2月上旬)
学生数	4年
創立年	1965年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	4104	451400円	
宿舍費	2006	220660円	
食費	518	56980円	
図書費	0	0円	
学用品費	300	33000円	
教養娯楽費	200	22000円	
被服費	200	22000円	
医療費	142	15620円	
保険費	840	92400円	形態:
渡航旅費	2454	270000円	
雑費	1797	197670円	イベントの参加や買い物
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	12561	1381730円	

渡航関連

渡航経路: 往路 成田⇔ロサンゼルス 復路 J.F ケネディ

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	13万
復路	14万
合計	27万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

エクスペディア

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数1)

3) 住居を探した方法:

留学先の大学の紹介

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

キッチンやバスルームは共同なので、同居人同士でルールを向けたりしたほうが良いと思います。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった
 利用した: 大学内の診察室

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

今回参加したプログラムの専用相談窓口

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

部屋の鍵は外出時かならずかける。貴重品はスーツケースのなかで保管。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内で wifi があったので、それを毎回利用。またはカフェなどに行き、接続した。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

大学内の ATM からお金を引き出したり、クレジットカードを利用。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特にないです。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前にクレジットカードで支払いました。

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。 進路についての具体的な方向性はこの留学で決まりはしませんでした。大きな経験となりました。今後の人生においても貴重な時間を過ごせたので、留学はおすすめしておきます。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
University writing&communication Academic English 29	ライティング&コミュニケーション
科目設置学部・研究科	
履修期間	2017年6月26日-8月3日
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	クラス(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Maryam Eslami
授業内容	クラスで教材を使い、大学レベルの英語の習得を目指す。
試験・課題など	ショートエッセイ、プレゼン、ポキャブラリー調べなど。
感想を自由記入	生徒の大半が留学生でした。そのため、留学生同士で友達が多くできました。授業自体は課題が多く、必然的に毎日の予習復習は必須です。先生は厳しいですが、意欲的な生徒にはとても親切です。
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro Socioculture Anthropology 2A	文化人類学 入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	2017年6月26日-8月3日

単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が2回
担当教授	Leo R. Chavez
授業内容	文化人類学の基本を学びます。そこからの発展で、ブラジルの民族、アメリカの移民問題について調べていきます。
試験・課題など	レポートと中間テスト、期末テスト。
感想を自由記入	基本講義の授業体系で、先生の話がとても面白いです。授業の理解を深めるために予習文献があるのですが、大量です。課題は少ないものの、この文献が大変でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ESL Reading&Vocabulary Academic English 22B	リーディング&ボキャブラリー
科目設置学部・研究科	
履修期間	2017年8月7日-9月13日
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	クラス(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が3回
担当教授	Matthew Diamond
授業内容	教材を使い、大学レベルの英語の習得を目指す。
試験・課題など	語句調べ、期末試験
感想を自由記入	サマーセッションの留学生だけでなく、9月から正規の生徒になる人が多くいました。そのため、英語のレベルも高く、日常会話の良い勉強にもなりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Beatles& &60s Music 8	ビートルズと60年代
科目設置学部・研究科	
履修期間	2017年8月7日-9月13日
単位数	4
本学での単位認定状況	未定 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が2回
担当教授	David Brodbeck
授業内容	ビートルズと、ビートルズが活躍した60年代のアメリカ、イギリスについて。
試験・課題など	毎週のミニテスト、中間テスト、期末テスト。
感想を自由記入	先生の話がわかりやすく、音楽的な知識から、社会的な問題まで、と多角的に60年代を知ることができます。ですが、予習文献が多いため、大変です。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	Toeic の勉強
4月～7月	FORMTEXT Toeic の勉強、留学の資料集め
8月～9月	
10月～12月	留学の資料集め
2017年 1月～3月	Toeic の勉強、出願、選考
4月～7月	オリエンテーション、留学先の授業に向けた勉強
8月～9月	留学先での中間、期末テスト
10月～12月	留学に関するレポート、提出書類作成
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	<p>高校生の頃に友人が留学に行き、彼女から留学でとても良い経験が得られたと聞いてから、留学に興味を持ち始めました。また、今気になっている職業のグランドスタッフで英語が必要なこと、そしていろんな国の人たちを話し、知見を広めたいという思いが生まれ、留学について真剣に考えるようになりました。そして明治の留学プログラムについて資料を集めていくにつれて、今回のサマーセッションが留学期間、費用など現実的な面で自分の理想と一致したため、留学を決めました。</p>
留学のためにした準備, しておけば良かったと思う準備	<p>私が実際に留学中に準備をしておけばよかったと思ったことは、日常会話や英語文化圏の知識、日本に対する造詣を深めることです。日常的な会話での言葉、例えばスラングや若者言葉を全く知らなかったため、始めの会話でなかなかついていけず、苦勞しました。また洋画もあまり見ている方ではなかったため、英語圏の文化の理解も乏しく、周りのみんなとの共通理解にかけてしまっているところがありました。そして、日本の文化についてですが、宗教について詳しく聞かれた際に、うまく表現しきれなかったという悔しい場面があったので、準備しておけばよかった、と後悔しています。</p>
この留学先を選んだ理由	<p>この留学先を選んだ理由は大きく3つあります。一つ目は治安の良さ。カリフォルニア大学アーバイン校は全米で最も治安の良い地域の一つにあります。二つ目は、大学のスタッフ、教授の方々が親切で、面倒見が良いと聞いたからです。他のカリフォルニア大学はアーバイン校より偏差値が高く、規模も大きいのですが、その分自主性を重んじています。そこと比較すると、アーバイン校は人数が比較的少なく、サポートも手厚いときいたので、初めての留学で不安があった私には適していると思い、留学先として選びました。</p>
大学・学生の雰囲気	<p>大学の雰囲気はのびのびとしていて勉強をするのにとっても適しています。大学のキャンパスは日本に比べるととても大きく、生徒の多くはスケボーか自転車で校内を移動しています。またキャンパス内は自然も多いため、毎日リスやウサギを見ることができ、リフレッシュとしてベンチに座って本を読んだり、芝生で勉強などができてよかったです。生徒は半数がアジアの人たちで、メキシコからの移民の人もいて、様々な言語が飛び交っている印象を受けました。</p>
寮の雰囲気	<p>寮はサマーセッションの留学生+正規の学生(一名)が住んでいたのですが、交流が比較的盛んに行われていたのではないかと思います。正規の学生の方がゲームやパーティなどを時々催してくれ、みんなと知り合うきっかけとなりました。その後週末の暇なときにみんなで海に行ったり、ショッピングに出かけるようにな中を深めることができました。寮の雰囲気としては良好でしたが、共同のキッチンやバスルームの使用ルールについての共通理解が不足しており、嫌な気分になることもしばしばありました。</p>
交友関係	<p>留学した始めの頃は、初めての留学、初めてのアメリカという初めて尽くして緊張ばかりしており、なかなか人に話しかけられずにいました。また、日常会話を弾ませることができなくて悩んでいました。しかし日本に興味がある子たちから話しかけてくれることが徐々に増え、友達も増えていきました。彼女たちからの日本についての質問が増えていくのと同様に、私から彼女たちの故郷についての質問も増え、相互理解を深めていくようになりました。最終的にはお互いの国に訪れようと言い合えるまでの仲になれました。</p>
困ったこと, 大変だったこと	<p>留学先で困ったことが二つあります。一つ目は食事についてです。やはり日本での食事とは勝手が違い、手に入る食材のサイズ、味が大きく異なり苦勞しました。特に料理を買うにしても、食材を買うにしてもサイズが大きいことが多々あり、買うのを断念したり、使い切らず廃棄することもありました。二つ目はシャンプーや保湿クリームなどが自分に合わなかったことです。もともと敏感肌なのですが、留学先で買ったシャンプーで髪はゴワゴワになり、クリームを使ったら肌はかぶれて、病院に行く羽目になりました。</p>
学習内容・勉強について	<p>私は英語の授業の他に、文化人類学と音楽についての授業を取っていました。どちらも入門編ということであり、教授から入門的な予習テキストを指定されていたので、正規の生徒に比べて知識の遅れはさほどなかったかとおもいます。しかし予習の量が多く、日本でもやってこなかった量のレポートを課せられたので、大変でした。授業は講義形式で質問があればその都度先生に質問していくスタイルでした。初めの頃は教授の話すスピードについていけず、録音した音声を聞き返す日々でしたが少しずつ理解できる部分が増えていき、モチベーションも上げていくことができました。</p>

課題・試験について	課題はどの授業も多く課せられました。英語の授業ではエッセイや語句調べなどがほぼ毎日出ていました。残りの文化人類学、音楽の授業についても予習文献が多く、多くの時間をかけていましたが文献を読み終わるのは深夜、また早朝から図書館へ行き、読み漁る、という日々でした。特に大変だったのがレポート課題です。レポートの課題テーマが自分の知識の浅い部分だったので、参考文献何冊も読む必要があり、準備期間は大変でした。しかし、先生からお褒めの言葉をもらったので、次も頑張ろうという意欲に繋がりました。
大学外の活動について	授業のない週末は土日のどちらかを観光に費やしていました。始めの頃は大学のツアーに参加して、都市部や自然公園に行き、日本でなかなか味わえない事を体験しました。逆に後半では、仲良くなった友人と二人で、近くの小さな町へ行ったり、地元の人が行くビーチやレストランへ行き、地元の方々と交流をしていきました。特に面白かったのは寮近くでやっていた朝市です。近所の方が多く来ており、見たこともない食材が並んでおり、大変興味深かったです。
留学を志す人へ	興味があることには諦めず、突き進んでいくべきです。私は一年の初めから留学に興味があり、情報を集め続けていました。しかし、自分の条件に合う留学プログラムをなかなか見つけられず、見つけたとしても選考漏れも何回もあり、半ば諦めていました。そんな時にサマーセッションプログラムを見つけ、今回留学に至ったのです。そしてこの留学を掴むために努力を惜しみませんでした。諦めずに頑張れば目標は達成されるので頑張ってください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	予習	復習	復習	復習	予習	観光	娯楽
	授業	予習	授業	予習	授業	観光	娯楽
午後	授業	予習	授業	予習	復習	観光	復習
	授業	娯楽、ジム	授業	ジム	娯楽	観光	予習
夕刻	娯楽	娯楽	娯楽	娯楽	娯楽	観光	予習
夜	復習	予習	復習	予習	娯楽	観光	予習